会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 平成３０年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」  Ⅰ．教職員の資質能力向上の推進　（ⅱ）教職員研修プログラムの構築事業 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第6回学習評価研修WG |
| 開催日時 | 2019年2月15日 16時〜18時 |
| 場所 | リファレンス駅東ビル 3F H-5 |
| 出席者 | 委員：岡村慎一、植上一希、佐藤昭宏、小田茜、瀧本知加、近藤賢宏、佐伯京子、森佳奈枝  請負業者：飯塚正成 |
| 議題等 | 〇次年度に向けての振り返り  ・麻生→KBCでかなり改善できた。講師としては手応えのあるプログラムだった。  ・KBCで、人間性・コンピテンシーみたいなものを、どこまで分類・数値化していいのかということを指摘いただいた。⇒これは基礎編より、応用編で踏み込むことになる。  ・プロトタイプの事後アンケートより、時間が「短い」と回答した方は、ワークの時間（意見交流の時間がもっと欲しかった）に対する意見が多かった。「長い」と回答している方は、内容が重複しているように感じられていた。  ・難易度は、事例があったため内容理解に至るまでが比較的容易だったが、もう一歩踏み込んでもよかった。  ・入社3,4年目の教員から感想を聞いてみたところ、専門用語が、思っている以上に多いようだった。ただ、無意識のものを意識化できたという意見もあった。  ・基礎編で把握してほしい用語について、資料の中や、別冊用語集のようなものがあると、終わった後の実践でも使いやすい。把握してほしい用語をしっかりと提示してもらうと応用編への移行や事後学習もスムーズになるのではないか。  ・職業実践的な部分を内容に盛り込んでいきたい。  ・パワポ・テキストともに原稿はこれにて完成とする。これから印刷段階においてプロの目線で組版・校正をお願いする。  〇次年度事業について  ・次年度事業は基礎編教材を完成させる。  ・基礎編の実証は、それぞれ全国３会場程度で実施する。  ・基礎編は、教員用指導書および評価指標の開発を行う。  ・次年度事業は応用編の作成に着手する。  ・応用編の開発に必要な視察調査を実施する。  ・応用編の実証は、それぞれ全国２会場程度で実施する。 |

以上